

2022 年度

国府台女子学院 中学部

推薦入試基礎学力調査

国 語 (40 分)

【注 意】

1. この問題は、「始め」の合図があるまで開いてはいけません。
2. **受験番号**は解答用紙の決められたところにはっきりと書いてください。
3. 問題を読むときに、声を出してはいけません。
4. 印刷が不鮮明ふせんめいでわからない場合や、その他わからないことがあった場合には、だまって手をあげ、先生にたずねてください。
5. **答えは、すべて別紙解答用紙に記入してください。**

注意Ⅱ句読点や記号もそれぞれ一字と数えます。

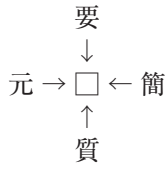
問一 次の①～⑥の——線部のカタカナは漢字に直し、漢字はよみがなをひらがなで答えなさい。

- ① 心豊かでセイヒンな暮らし。
- ② 農業でセイケイをたてる。
- ③ ヨゴが悪い。
- ④ 友人に発破をかける。
- ⑤ 国を統治する。
- ⑥ 天分の才能に恵まれる。

問二 次のア～エの——線部の「権」の読みが他と異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 政権
- イ 権現
- ウ 権限
- エ 権勢

問三 それぞれの矢印の向きにしたがって適切な二字熟語ができるように、□に共通する漢字一字を答えなさい。



問四 次の文の——線部の意味を表す最も適切な四字熟語を後のア～エより

一つ選び、記号で答えなさい。

いくつもの証拠を集めて、ようやく無罪であることが明らかになった。

- ア 有名無実
- イ 丁々発止
- ウ 感慨無量
- エ 青天白日

問五 次のア～エの——線部の表現のうち、使い方が不適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 佐藤様でございますか。
- イ たくさん召し上がってください。
- ウ 遠慮なくいただきます。
- エ 高木先生がお話になる。

問六 次のア～ウの□には全て同じ語が入ります。下に書かれたそれぞれの意味を参考にして、□にあてはまる語を漢字一字で答えなさい。

- 意味
- ア うさぎの□ …… 実際にはないもの
 - イ 牛の□突き合い …… 仲が悪く、争い合うこと
 - ウ 鬼も□折る …… 悪人がふとしたきっかけで善人になること

問七 次の——線部の語の使い方が適切であれば○、不適切であれば×と答えなさい。

油断して足をすくわれた。

問八 次の——線部の語の意味として最も適切なものを後のア～エより一つ

選び、記号で答えなさい。

たまった仕事をなしくずしに片付けた。

- ア うやむやに イ 強引に
ウ 少しずつ エ いいかげんに

問九 次のア～ウのうち、「すぐに」と同様の意味ではないものを一つ選び、

記号で答えなさい。なお全てひらがなで表記しています。

- ア たちどころに イ とりもなおさず ウ そくざに

問十 次の①～③の語に共通する「あり」はどのようなものをたとえている

のでしうか。最も適切なものを後のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ① ありの思いも天に届く
② あり集まって樹を揺るがす
③ 大仏をありが曳く

- ア 無力な者 イ 群れる者
ウ 執念深い者 エ 徳のある者

問十一 「十二月」を表す言葉としてあてはまらないものを次のア～エより

一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 燕月 イ 氷月 ウ 師走 エ 極月

問十二 次のア～エの——線部の語から、使い方が不適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 非常識な発言をする。
イ 頑固な祖父を説得する。
ウ 異様な光景にたじろぐ。
エ 業界最大手な会社だ。

問十三 次にあげたア～クの例文に基づいて、——線部の「もの」と「こと」

の使い分けをよく考察し、あとの文の（ 1 ）・（ 2 ）の形式に合うように、その違いを説明しなさい。ただし、どちらも「具体性」という言葉を用いて説明すること。

- * 「もの」を用いるほうが自然で、「こと」を用いると不自然な文。
ア 海というものには無限の可能性がある。
イ この壺は高値がつく、すばらしいものだ。
ウ その映画はすでに見たことがあるものだった。
エ 食べるものなら何でもいただくよ。

* 「こと」を用いるほうが自然で、「もの」を用いると不自然な文。
オ いろいろ事情があるんだね。そういうことなら仕方がない。
カ 今回のようなことは二度と繰り返されてはならない。
キ 先生を怒らせてしまった。この後は大変なことになるよ。
ク 地域の訪問調査により、わかったことを報告します。

• これらの例文における、「もの」という語は（ 1 ）に用いているのに対し、「こと」という語は（ 2 ）に用いている。

問十四 「イスカ」という鳥（挿絵参照）の特徴をとらえた「イスカのはし」という言葉があります。この言葉の意味を説明した次の文の（ ）に適切な語を考え、ひらがな六字で答えなさい。なお、「はし」とは「くちばし」のことです。

物事が（ ）六字（ ）思うようにならないこと。



イスカ

問十五 次の言葉は、詩人の最果タビ氏によるものです。これを読んで、後のような感想が述べられました。これらを読んで、それに続く1〜4の問いに答えなさい。

※著作権処理中です

最果タビ展（企画・制作 キョードー大阪）より

感想

・「最果タビさんは、ネットなどの横書きで作品を発表している詩人

なんだって。横書きで書くと、最果タビっていう文字感はとても衝撃的だけど、まあそれはさておき、ただただ僕はまさに今の時代の人々の孤独を感じてしまったよ。」

・「僕もだよ。君は孤独感を」 I 「という部分から感じただね。でも、この部分からははっきりした意思や使命感も感じられる気がしたよ。」

・「なるほど、確かにそうだね。でも僕は弱さやはかなさも感じる。意思はあるのに（ II ）。」

・「そうだね。その漠然とした暗い感じは「 III 」という語のイメージによって示されているのかもね。」

・「ともかく、現代社会の人々の定めと、どうしようもない虚無感を感ずるんだ。」

1 「 I 」にあてはまる部分を詩中から書きぬいて答えなさい。

2 （ II ）にはどのような感想が入るでしょうか。あてはまらないものを次のア〜エより一つ選び、記号で答えなさい。

ア 結局誰も幸福にできない、独りよがりの思いを押し付け合ってもがいている不安定な感じもするんだ。

イ 確たる目的があるわけではない、それによってかろうじて安定を保とうとしているだけの感じもするんだ。

ウ どこまでいっても晴れやかなものにはなりえない、むしろあきらめにも似たやるせない感じもするんだ。

エ 好んでそうしているのではない、ただ存在するためにやむなくそ

うしているような感じもするんだ。

3 「Ⅲ」にあてはまる一語を詩中から書きぬいて答えなさい。

4 これらの感想の内容をふまえて、Xにあてはまる語として最も

ふさわしいものをア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

ア 1等星 イ 6等星

ウ ポラリス エ 星団

注釈

ポラリス……北極星。人々に方角を導く指針となる星。

星団 ……恒星が重力によって集まったもの。星の集団。

問十六 「体よく」という語を用いて十字以上二十字以内で短文を作りなさい。

い。文意が通じれば主語はなくてもかまいません。

問十七 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

少なくとも、^aヘイジの私たちは、自分の行為の結果は予測できるという前提で生きています。

でも、だからこそ「こうだろう」が「こうであるはずだ」に変わりやすい。実際には相手は別のことを思っているかもしれないし、いまは相手のためになっても、一〇年後、二〇年後にはそうではないかもしれない。

にもかかわらず、どうしても私たちは「予測できる」という前提で相手と関わってしまいがちです。^①「思い」が「支配」になりやすいのです。^{※1}利他的

な行動をとるときには、とくにそのことに気をつける必要があります。

そのためにできることは、相手の言葉や反応に対して、^{※2}真摯に耳を傾け、

「聞く」こと以外にないでしょう。知ったつもりにならないこと。Aを

意識すること。^②利他とは、私たちが思うよりも、もつとずつと受け身なこと

なのかもしれません。

さきほど、信頼は、相手が想定外の行動をとるかもしれないという前提に立っている、と指摘しました。「聞く」とは、この想定できていなかった相手の行動が^③はじめてい、積極的な可能性を引き出すことでもあります。「思っていたのと違った」ではなく「そんなやり方もあるのか」と、むしろこちらの評価軸がずれるような経験。

他者の潜在的な可能性に耳を傾けることである、という意味で、利他の本質は他者をケアすることなのではないか、と私は考えています。

ただし、この場合のケアとは、必ずしも「^④介助」や「介護」のような特殊な行為である必要はありません。むしろ、「^⑤こちらには見えていない部分」がこの人にはあるんだ」という距離と^⑥ケイイを持って他者を気づかうこと、という意味でのケアです。耳を傾け、そして拾うことです。

ケアが他者への気づかいであるかぎり、そこは必ず、B性があります。自分の計画どおりに進む利他は押しつけに傾きがちですが、ケアとしての利他は、小さきままなよき計画外の出来事へと開かれている。この意味で、よき利他には、必ずこの「他者の発見」があります。

さらに考えを進めてみるならば、よき利他には必ず「自分が変わること」が含まれている、ということになるでしょう。相手と関わる前と関わった後で自分がまったく変わっていないければ、その利他はC的である可能性が高い。^⑤「他者の発見」は「自分の変化」の裏返しにほかなりません。

(中略)

利他についてこのように考えていくと、ひとつのイメージが浮かびます。それは、利他とは「D」のようなものではないか、ということ です。相手のために何かをしているときであつても、自分で立てた計画に固執せず、常に相手が入り込めるような余白を持っていること。それは同時に、「E」可能性としての余白でもあるでしょう。この何もない余白が利他であるとするならば、それはさまざまな料理や品物をうけとめ、その可能性を引き出す「D」のよう です。

(伊藤亜紗編 『利他』とは何か』集英社新書)

※1 利他…：自分のことよりも他人の利益や幸福を考えること。

※2 真摯…：まじめでひたむきな様子。

1 〰〰線部(a)〱(c)のカタカナを漢字に直しなさい。

2 〰〰線部①『『思い』が『支配』になりやすいのです。』とあります。が、この具体的な説明として最も適切なものを次のア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 助けてもらった相手に申しわけなく思い、その人に意見や本音を言えなくなるということ。

イ 相手のために行動すれば、相手が喜ぶはずだという思いこみになるということ。

ウ 相手のために行動は、めぐりめぐって最終的に自分にとっての得になるということ。

エ 相手のためになることをしたという満足感と自信が、のちに万能感につながるということ。

3 Aに入る言葉として最も適切なものを次のア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 相手の将来 イ 自分との違い
ウ 自分の変化 エ 互いの共通点

4 〰〰線部②「利他とは、私たちが思うよりも、もつとずっと受け身なことなのかもしれません。」とありますが、なぜですか。最も適切な説明を次のア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 相手が自立できる可能性をうばわないよう、どこまで手をさしおけるか注意する必要があるから。

イ 相手の力になりたいという思いが確実に伝わるよう、幅広い可能性を示す必要があるから。

ウ かえって迷惑にならないよう、相手が助けを求めのを待つてから行動する必要があるから。

エ 善意の押しつけにならないよう、相手の反応を見て柔軟に対応を変える必要があるから。

5 〰〰線部③「こちらには見えていない部分」とはどういうものですか。最も適切なものを次のア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 見ようとしても見ることができない部分

イ 知られないように相手が隠している部分

ウ 思いこみの中では見えてこない部分

エ 手助けすればこれから成長できる部分

6 Bには本文中で使われていない二字熟語が入ります。次の中から適切な漢字を選び、組み合わせさせて答えなさい。

主 外 具 様 体 意 観

7 線部④「よき利他」に当てはまると思われる具体例を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 遊びに来る友人のために食事を用意したが、宗教上の理由で食べられないものがあつたことを思い出し、メニューを変更した。

イ 真夏の暑い中、目の不自由な人を誘導している盲導犬がいたので、「がんばってね」と声をかけて頭をなで、さらにおやつをあげた。

ウ 今までボランティアに参加したことがなかったが、学校で環境問題を学んでから興味をもち、今年初めて植樹活動に参加した。

エ 電車でお年寄りに席をゆずつたら、「座ってから立ち上がるのがつらいから」と断られ、座ったほうが楽とは限らないことを知った。

8 Cに入る言葉として最も適切な語を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 一方 イ 消極 ウ 相対 エ 多元

9 線部⑤「『他者の発見』は『自分の変化』の裏返しにほかなりません。」とありますが、なぜですか。最も適切な説明を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 他者を気づかう利他は、相手の想定外の反応を踏まえ、次は予想

どおりになるよう計画を見直すから。

イ 他者を気づかう利他は、相手の想定外の反応を引き出すので、善意を押しつける利他とは対照的だから。

ウ 他者を気づかう利他は、相手の想定外の反応を無視せずに受け入れるので、新たな気づきがあるから。

エ 他者を気づかう利他は、相手の想定外の反応を知ることによって視野が広がり、自己実現につながるから。

10 Dに入る、入れ物や才能を意味する言葉をひらがな三字で答えなさい。

11 Eに入る言葉を本文中から六字でぬき出しなさい。

12 本文で述べられていることとして適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自分の行為が予想どおりの結果になるとは限らないため、相手の助けを待ってから手をさしのべることが真の利他的な行動である。

イ 利他的な行動をとろうとするときは、相手に本当に求めていることは何か、しっかりと確認させてから行動することが重要である。

ウ 自分と相手はちがうということを意識し、相手の予想外の反応も受け入れようとする姿勢が、相手のことを考えたケアにつながる。

エ 自分の視野を広げるためには、主体的に利他的な行動をし、相手の言葉や反応に耳を傾け、相手から学ぼうとする積極性が求められる。

オ 本当に相手のために思った利他的な行動は、相手の反応を受けて

自分の行動や価値観が柔軟じゆうなんに変わることを否定ひしないものである。
カ 相手にあまり深入りせず、ある程度距離を置いて客観的に相手を
分析せきすることで、押しつけの行動になってしまうことを避けさられる。

12	11	10	7	5	2	問十七	問十六	問十五	問十四	問十三	問十	問八	問六	問四	問二	問一
						1 a		1		2 1						④ ①
			8	6	3						問十一	問九	問七	問五	問三	⑤ ②
						b										
			9		4	めて					問十二					⑥ ③
						c										

受験番号